

3 年 外国語活動

授業者 山下 力也

Unit 5 What do you like?

単元の工夫

単元終末の言語活動では、児童が互いに作成した T シャツをプレゼントし合う活動を行った。行事が多い 2 学期を迎えるにあたり、クラスとしてのチームワークを高めたいと考えたからだ。単元に入る前に、「これからもっと仲良くなりたい友だち」というアンケートを実施し、その結果をもとに交流のペアを構成することで、新たな人間関係づくりへの動機付けを図った。

単元の導入となる 1・2 時間目では、ポインティングゲームやミッシングゲームを取り入れ、新出語彙や表現に慣れ親しむ活動を多く行った。これにより児童は、自然に好きなものをたずねたり答えたりする言い方に慣れ親しみ、T シャツづくりをするためのインタビューやプレゼント活動につながる土台を築くことができた。

授業の様子と成果

ポインティングゲームやミッシングゲームでは、ゲームを楽しむだけで終わらないように工夫した。具体的には、答えた児童に対して全員で「Do you like?」「What ~ do you like?」と尋ねる言語活動を加えることで、表現を繰り返し使う機会を意図的に設けた。そうすることで、児童は新出表現を自然に使い慣れることができ、その後のインタビューに自信を持って取り組むことができた。



後日、オリジナル T シャツをもらい喜ぶ児童



課題や改善点

中間交流では、児童から「目を見る」「ジェスチャーをする」「相手の言葉に反応する」といった工夫が挙げられたが、後半のやり取りの中でその変容は十分に見られなかった。なぜそのような工夫をするのかについて、「もっと仲良くなるために」という単元終末の目的に立ち返らせ、児童それぞれが目的意識をもって活動に臨む必要があったと考えられる。

また、指導者が T シャツを提示するタイミングが、やや唐突に感じられたという意見が出た。授業の導入から「今日は最後に T シャツを描くよ」と児童に伝え、見本を提示しておくことで、児童がインタビューをする目的を十分に理解し、「もっと仲良くなるための交流」として取り組むことができたのではないかと感じた。